

決裁 安木

從來軍用動物表彰事務ハ人事局恩賞課ニ於
テ取扱ヒアリシ處左記理由ニ依リ軍馬、軍犬ニ
關シテハ兵務局馬政課ニ於テ軍馬ニ關レテハ
同局防備課ニ於テ取扱フコトト致サレ度

右請決裁

理由書

初給付年拾月拾九日

別紙軍用動物表彰内規ニ依ル表彰事務
ハ人事局恩賞課ニ於テ取扱ヒアリシ處左記理由ニ依リ軍馬、軍犬ニ
關シテハ兵務局馬政課ニ於テ軍馬ニ關レテハ
同局防備課ニ於テ取扱フコトト致サレ度

且ツ動物愛護、念アラ涵養セシムルニアルヲ以テ
 其、詮衡實施ノ適正ト事務竹間捷ヲ期スル
 爲之ク表彰事務ハ當該主務課ニ於テ取扱
 フラ至當ト認ムルニ因ル

右決裁後

副官ヨリ馬政課長ヘ通牒來

從來軍用動物表彰事務ハ人事司恩賞
 課ニ於テ取扱ニアリレ處爾後軍馬、軍犬ニ
 関シテハ貴課ニ於テ取扱フコトニ定メラレタルニ体依
 命通牒ス

道テ一件書類並表彰物件ノ引継ニ付テ
ハ人事局恩賜課ト連絡相成度申添フ

陸署第六二九四號 昭和二年拾月廿壹日

軍馬、軍犬、軍鳩表彰内規

昭和八年五月

軍馬軍犬軍鳩表彰内規左ノ通定ム

第一條 軍馬軍犬軍鳩ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當ノモノアルトキハ陸軍
軍大臣之ヲ表彰スルコトアルヘシ

一 戰時事變竝ニ廉アル演習等ノ際特ニ功績ヲ顯ハシタルモノ

二 平時長年月服役シ成績特ニ顯著ニシテ表彰ノ價值アリト認メタ

ルモノ

第二條 前條第一號ニ該當スルモノアルトキハ其ノ都度、其ノ他ハ毎
年十二月聯隊長、獨立隊長又ハ之ト同等以上ノ權アル部隊長ヨリ功
績調書様式一二通ヲ添ヘ順序ヲ經テ所管長官ニ上申スヘシ

第三條 所管長官ハ第二條ノ上申ニ基キ銓衡ノ上功績調書ニ列次名簿

第三式 二通ヲ添ヘ第一條第一號ニ該當スルモノハ部隊長ヨリ提出ノ都度、其ノ他ハ翌年一月末日迄ニ陸軍大臣ニ上申スルモノトス

第四條 陸軍大臣表彰ノ資格アリト認ムルモノハ當部隊ニ賞狀ヲ當該動物ニ功章ヲ授與ス

第五條 賞狀及功章ハ適宜ノ方法ヲ以テ之ヲ授與シ且ツ全隊ニ布告ス

ルモノトス

第六條 功章ノ佩用ハ所屬部隊長適宜之ヲ定ムルモノトス

第七條 本内規ニ依リ表彰セラレタルモノハ其ノ旨名簿ニ記入スルモノトス

第八條 功章ハ受賞動物力保管轉換ノ場合ハ之ニ附屬セシメ除役、死亡若ハ殺處分ヲ目的トシテ處分スル場合ハ部隊長適宜之ヲ處分スル

モノトス

附 則

第九條 賞狀及功章ノ様式並ニ佩用方ハ様式第三、第四ノ如シ
本内規ハ昭和八年六月一日ヨリ實施ス

様式第一

軍馬（軍犬、軍鳩）功績調書 昭和年月日

第師團 兵聯（大）隊第中隊

功績等級 及序列	名稱	種類	生年月日	性	毛（羽）色	特徵	用役 年月日
丙 何頭中 何位							

功績事項

一、二、三

0041

調製上ノ注意

一、本調書ハ一頭（一羽）毎ニ別葉トス

二、「」内ヘ記載例ヲ示ス

三、戦時事變ニ依ルモノハ其ノ功績ヲ成ルヘク詳細ニ記述シ平時ノ成績
練ニ依ルモノハ入隊以來ノ平素ノ用役成績、資格能力、疾病（休業
日數等モ記入）演習參加ノ成績等詳細ニ記入スルモノトス

四、功績等級ハ甲、乙、丙ニ區分ス甲ハ内規第二條第一號ニ依リ殊勳ニ、
乙ハ同勳功ニ價スルモノ丙ハ同條第二號ニ依ルモノニシテ勵勞ニ價

スルモノトス

様式第二

軍馬（軍犬、軍鳩）表彰列次名簿

昭和年月日
第師團

判決	所管長官所見	功績等級	列次名稱所屬
備考	所管長官	部隊長	列次名稱所屬

調製上ノ注意

- 一、本列次名簿ハ馬匹、犬、鳩毎ニ別葉トス
 二、「判決」ノ欄ハ最後審査ニ於テ所要ノ記入ヲ行フ

0043

様式第三

第

號

賞

第

師團

兵第

聯（大）隊第

中隊

狀

號

性

何

種

類

生年月日

特產地
統徵

ニ於ケル功績抜群（優秀）（多年服役シ其ノ成績顯著）

0044

右

0045

ナルニ付功章ヲ授與シ茲ニ之ヲ表彰ス

年 月 日

陸軍大臣

氏

名

印

様式第四

様式竝ニ佩用方

軍馬

ス

三様式（圖略ス）アリ額革中央ニ附著シ額革ト共ニ授與ス

軍犬

三様式（圖略ス）アリ首輪ニ附著シ首輪ト共ニ授與ス

鳩

三様式（圖略ス）アリ脚ニ環着ス